

# 令和3年度学校自己評価システムシート（県立飯能高等学校定時制の課程） W05

目指す学校像	・生徒一人ひとりの個性を伸ばし、社会で自立できる力を育てる定時制高校
--------	------------------------------------

重点目標	1 生徒が安心できる居場所づくりと生徒の自主性、自律性、社会性の伸長 2 基礎・基本の定着と進路指導の充実 3 保護者や中学校との連携強化と学校情報の積極的な提供 4 教職員の働き方改革に向けた学校全体での業務の見直しや効率化の推進
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校評議員会・学校評価懇話会 書面開催 委員9名から意見等を聴取
----------------------------------------

学校自己評価							
年度目標			年度評価（2月1日現在）				
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	【現状】 小・中学校時代に不登校等を経験し、学校生活に慣れていない生徒が少なからず在籍している。そのため、県教委の諸事業や外部人材を活用、関係機関との連携とともに、学校行事や部活動を通して、生徒に自立する力を身に着させている。 【課題】 多様な困難を抱えた生徒にとって安心できる居場所となるよう、きめ細やかな教育活動を展開する必要がある。 生徒の自主性・自律性・社会性を育むため、生徒と職員の信頼関係を深めるとともに、教科指導のみならず、学校行事・部活動等の特別活動の充実が必要である。	生徒と職員の信頼関係を深め、生徒が安心できる居場所づくりを推進する	①定期的なカンファレンスによる生徒情報の情報共有を行うとともに、必要に応じて外部人材や関係機関と連携する。 ②内容を精査した上で、コロナ禍に対応した学校行事を実施する。 ③県のガイドラインに即した部活動を実施する。 ④遅刻率減少に向け、生徒一人一人に応じた組織的な遅刻指導を行う。	①外部人材や関係機関と適切に連携できたか。 ②充実した内容の行事を実施できたか。 ④コロナ禍に対応した部活動を展開できたか。 ④遅刻者を減少できたか。	①毎回の職員会議でカンファレンスを行うとともに、SCによる定期的な面談や、特支コーディネーターとの連携支援会議を実施した。 ②学芸祭やスポーツ大会などを県のガイドラインに即して実施することができたが、コロナ禍により多くの行事を中止せざるを得なかった。 ③県のガイドラインに即した部活動を実施し、陸上部は県民総合スポーツ大会に出場し、野球部は合同チームで大会に出場した。 ④遅刻回数を集計したグラフを生徒に提示することで、可視化して指導に結び付けた。	B	多様な困難を抱えた生徒に沿った支援を充実させる必要がある。 ①定期的なカンファレンスにより生徒情報の共有を図るとともに、特支コーディネーターとの連携を深める必要がある。 ②校外行事についてはコロナ禍により全て中止とせざるを得なかったため、実施時期や内容を検討する必要がある。 ③県のガイドラインに即した上で活動内容の充実を図る必要がある。 ④月により遅刻率が変動するため、理由などを分析し、指導に結び付ける必要がある。
2	【現状】 大半の生徒が小中学校の段階で学習につまずいた経験をもっている。そのため、「わかる・できる」という成功体験を積み重ねる指導を行っている。 【課題】 欠点保有者の減少に努める一方、学習意欲の高い生徒を意識した指導を模索している。 生徒の進路保障を実現するために、県教委の諸事業や外部人材を活用した粘り強い進路指導が必要である。	生徒の学習意欲を向上させ、自己肯定感を高める取組を推進する	①互見授業を実施するとともに、UDの視点を踏まえた授業改善を進めることで、学習指導を充実させ、欠点保有者の減少に取り組む。 ②習熟度別指導・少人数指導を行うとともに、学習サポーターを活用し、基礎学力の定着を図る。 ③コロナ禍に対応した高校生自立支援事業を実施する。 ④就職支援アドバイザーと連携し、生徒の進路希望を実現する。	①欠点保有者が減少したか。 ②学習サポーターを適切に活用できたか。 ③生徒の満足度が高い高校生自立支援事業が実施できたか。 ④就職支援アドバイザーと連携し、生徒の進路希望が実現できたか。	①UDの視点を踏まえた授業づくりの研修を実施するなど、授業改善を進めることで、2学期の欠点保有者は減少した。 ②1学年の授業を中心に4人の学習サポーターを配置した。 ③1月に全生徒が参加した社会体験活動を実施するとともに、各学期にソーシャルスキルトレーニングを実施した。 ④就職支援アドバイザーによる講座や面談を実施し、全ての就職希望者を内定することができた。	A	自己肯定感を高める取り組みを継続するとともに、学習意欲の高い生徒への対応を模索する必要がある。 ①UDの視点を踏まえた授業改善を進める。 ②効果的な学習サポーターの配置を検討する必要がある。 ③県の諸事業を活用し、生徒の自立と進路実現を図る。 ④計画的な進路指導を実施し、進路保障を実現する。
3	【現状】 定時制の特性について理解してもらえるよう、学校説明会や中学校訪問の実施、学校ホームページの更新を行っている。また、コロナ禍以前はPTAによる下校指導に取り組んでいた。 【課題】 定時制の特性についての理解を中学校・地域に十分浸透させるまでには至っておらず、一層連携を深める必要がある。コロナ禍のため、保護者への学校行事への参加が困難な状況である。	学校情報を積極的に提供し、保護者や中学校との連携を深める	①学校ホームページを積極的に更新し、学校情報を発信する。 ②コロナ禍に対応した学校説明会や中学校への情報提供を実施する。 ③保護者と連携した指導を行うため、PTA下校指導を年間2回実施する。	①ホームページを50回以上更新したか。 ②効果的な学校説明会を実施するとともに、効果的な中学校への情報提供ができたか。 ③保護者と協力した下校指導を2回実施できたか。	①ホームページの更新を45回行った。 ②1月に学校説明会を行うとともに、入学希望者への学校見学を随時実施した。近隣の中学校17校に訪問及び電話による情報提供を行った。 ③感染症拡大防止のため、本年度も教職員のみによる下校指導を実施した。	B	コロナ禍に対応した学校情報の提供や保護者との連携について模索する必要がある。 ①ホームページの更新頻度を上げ、積極的に学校情報を発信する。 ②コロナ禍での中学校への情報提供方法を検討する必要がある。 ③コロナ禍で困難となっている保護者との連携を模索する必要がある。
4	【現状】 教職員の働き方改革に向けて、外部人材を活用するとともに業務内容の効率化を図っている。 【課題】 生徒の多様化に伴う教員の負担増大を改善していく必要がある。	県教委の諸事業や外部人材を活用し、負担軽減を行う	①企画委員会の活性化を通して業務の効率化を行う。 ②コロナ禍に対応するため、必要に応じて各分掌等で業務内容・分担の見直しを行う。 ③多様な生徒に対応するため、外部人材の活用と組織的な教育活動を進める。	①企画委員会が活性化したか。 ②コロナ禍に対応した業務の見直しについて、検討できたか。 ③外部人材を活用するとともに、組織的な教育活動ができたか。	①職員会議の前日の開催が定着し、各分掌や委員会間の情報連携に取り組むことで、計画的な職員会議での提案が実施されている。 ②各分掌等で総括シートをもとに、業務内容の精選を行った。 ③SCや特支コーディネーター、地元関係機関と連携し、多様な生徒への支援を実施した。	A	教職員の働き方改革に向けて引き続き業務内容の効率化を図る。 ①各分掌・委員会の業務内容の可視化と共有を推進する。 ②各分掌・委員会で次年度への課題となった事項に取り組む。 ③外部人材の活用を継続する。

学校関係者評価 実施日令和4年3月18日（書面開催） 学校関係者からの意見・要望・評価等
・コロナ禍により様々な制限が続いているが、生徒が活躍できる場をできる限り提供して欲しい。 ・多様な困難を抱える生徒一人ひとりの生徒に寄り沿ったきめ細やかな指導は、今後も継続していただきたい。
・生徒の学習意欲の向上のためにも、UDの視点を踏まえた授業改善の取組は今後も継続して欲しい。 ・生徒の進路希望の実現のためにも、計画的な進路指導と、効果的な外部人材を活用に努める必要がある。
・コロナ禍により行事の制限があるとはいえ、定期的なホームページの更新により定時制の特色を発信し続けることは意義がある。 ・コロナ禍における保護者や地域との連携の在り方を確立していただきたい。
・働き方改革は難しい課題であるが、ICTの活用、教職員一人ひとりの自覚、校務の再編等で負担の軽減を推し進めて欲しい。 ・外部人材を適切に活用することで、教育の質を担保した負担軽減が行えるのではないかと。